



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月26日

上場会社名 日本ガス株式会社(登記上の商号 日本瓦斯株式会社)

上場取引所 東

コード番号 8174 URL <http://www.nichigas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 眞治

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経財部長 (氏名) 宮本 英一

TEL 03-5308-2111

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	28,676	7.2	1,804	15.5	1,585	29.2	1,017	38.2
30年3月期第1四半期	26,749	3.6	2,135	52.3	2,240	48.0	1,646	43.5

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 985百万円 (38.6%) 30年3月期第1四半期 1,605百万円 (43.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	23.83	
30年3月期第1四半期	38.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	131,388	72,092	54.9
30年3月期	137,953	72,076	52.2

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 72,087百万円 30年3月期 72,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		19.00		23.00	42.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		23.00		23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	53,000	9.4	2,000	32.6	2,300	44.2	1,400	28.7	32.78
通期	130,000	13.3	13,400	25.4	13,800	24.4	9,200	18.0	215.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	48,561,525 株	30年3月期	48,561,525 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	5,853,237 株	30年3月期	5,858,603 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	42,704,201 株	30年3月期1Q	42,697,930 株

(注)自己株式数については、役員報酬BIP信託が所有する当社株式(31年3月期1Q:265,465株、30年3月期:271,137株)を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9
(2) 需要家戸数等の推移	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内のエネルギー業界は、2016年4月に電力小売りが、17年4月には都市ガス小売りが全面自由化され、大競争時代2年目を迎えました。既に関東圏では、異業種からの参入やエネルギーの垣根を越えた連携が加速しており、セット割料金メニューなどによる消費者への提案活動がより一層活性化していくものと思われま

す。当社グループは、このような状況下で業容拡大を目指し、今年度の都市ガス小売自由化市場でのお客様増加目標として200千世帯を掲げ、テレビCMやWeb広告等を通じたブランディング戦略により認知度向上に努めています。また、お客様に、利便性の高いサービスを提供するセット割料金メニュー「プレミアム5+プラン」のラインナップを拡充するなどし、グループの総力を挙げて営業活動を展開しております。そして、当社は、資本業務提携先である東京電力エナジーパートナー株式会社の協力を得て、ガスとのセット販売の中核商品となる、電力の小売事業を、今秋にスタートすべく準備を進めております。

また、当社グループは、先端テクノロジーこそが今後の企業価値を決定づけるという確信のもと、ICT技術の革新に引き続き力を注いでいます。資本業務提携先である株式会社メタップスと共同で、お客様の利便性向上を目的とした「Web決済システム」等の開発や、株式会社U-NEXTマーケティングの自動応答サービス（人工知能が音声により直接会話を認識し自動応答する「AIコンシェルジュ」）の導入などの取組を進めて参りました。また今般、株式会社ソラコムと協働で、ガスボンベやガスメーター等の様々なデバイスから多くのデータを収集し、AIにより解析することで、お客様毎の異なるニーズに対応する新たなサービスを、アプリを通じて提供する「ニチガス・ストリーム」の構築に着手しております。当社グループのこうした企業価値向上のための戦略的なIT活用とその成果が評価され、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「攻めのIT経営銘柄2018」に3年連続で選ばれております。今後も、AI等の先進テクノロジーの活用によるシステム開発を推進し、ペーパーレスオペレーションによるお客様のサービス受益ストレスの解消とスピーディで利便性の高いサービスの提供に努めて参ります。

定量面に関しましては、当第1四半期末の当社グループのお客様数は、前年同期末に比べ124千世帯増の1,372千世帯と大きく増加しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、期初からの高気温の影響を受けましたものの、自由化市場でのお客様数の順調な伸びに伴いガス売上高が前年同期に比べ増加したこと等により286億7千6百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

利益面につきましては、原料価格の上昇に加え、営業力強化のための人員増に伴う労務費の増加等があり、営業利益は18億4百万円（前年同期比15.5%減）、経常利益は15億8千5百万円（同29.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億1千7百万円（同38.2%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

[LPガス事業]

LPガス事業におきましては、ガス販売量は期初からの高気温の影響を受け減少いたしましたが、原料価格の値上がりに伴う販売価格の上昇等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は160億6千8百万円と前年同期に比べ4億4千6百万円（前年同期比2.9%増）の増収となりました。

[都市ガス事業]

都市ガス事業におきましては、ガス販売量が、自由化市場でのお客様数の順調な伸びに伴い前年同期に比べ増加したこと等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は126億7百万円と前年同期に比べ14億7千9百万円（前年同期比13.3%増）の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ65億6千5百万円(4.8%減)減少し、1,313億8千8百万円となりました。これは主に、季節的要因により現金及び預金と受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものです。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ65億8千2百万円(10.0%減)減少し、592億9千5百万円となりました。これは主に、返済を進めて借入金を減少させたこと、季節的要因により支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものです。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1千6百万円(0.0%増)増加し、720億9千2百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金の支払いによる利益剰余金の増減を反映したものです。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.7ポイント向上し、54.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年度については、自由化された都市ガス小売市場での顧客基盤の拡充等によるガス販売高の伸長とガス機器の普及・拡大により、連結売上高は平成29年度に対し13.3%増の1,300億円になる見通しです。利益面については、LPガス事業と自由化市場での都市ガス事業の収支改善が見込まれますため、営業利益は25.4%増の134億円、経常利益は24.4%増の138億円、親会社株主に帰属する当期純利益は18.0%増の92億円になる見通しです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,467	27,456
受取手形及び売掛金	6,759	5,652
商品及び製品	5,453	4,217
原材料及び貯蔵品	182	173
その他	926	1,153
貸倒引当金	△141	△126
流動資産合計	44,649	38,527
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,255	9,117
機械装置及び運搬具（純額）	34,129	33,477
工具、器具及び備品（純額）	1,007	995
土地	25,244	25,244
リース資産（純額）	2,211	2,075
建設仮勘定	830	1,397
有形固定資産合計	72,678	72,308
無形固定資産		
のれん	3,073	2,882
その他	3,211	3,370
無形固定資産合計	6,284	6,252
投資その他の資産		
投資有価証券	4,485	4,355
その他	10,460	10,530
貸倒引当金	△604	△587
投資その他の資産合計	14,340	14,299
固定資産合計	93,304	92,860
資産合計	137,953	131,388

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,249	5,445
電子記録債務	4,269	3,025
短期借入金	11,012	13,881
未払法人税等	3,023	585
賞与引当金	436	441
その他	5,632	6,437
流動負債合計	31,624	29,818
固定負債		
長期借入金	27,917	23,168
株式報酬引当金	405	419
ガスホルダー修繕引当金	294	311
製品自主回収関連損失引当金	38	5
退職給付に係る負債	2,431	2,445
その他	3,166	3,126
固定負債合計	34,253	29,476
負債合計	65,877	59,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,070	7,070
資本剰余金	15,724	15,724
利益剰余金	56,620	56,649
自己株式	△8,824	△8,804
株主資本合計	70,589	70,639
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,212	1,252
為替換算調整勘定	289	217
退職給付に係る調整累計額	△23	△21
その他の包括利益累計額合計	1,479	1,448
非支配株主持分	6	5
純資産合計	72,076	72,092
負債純資産合計	137,953	131,388

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	26,749	28,676
売上原価	12,746	14,675
売上総利益	14,002	14,001
販売費及び一般管理費	11,867	12,196
営業利益	2,135	1,804
営業外収益		
受取利息	9	96
受取配当金	30	23
不動産賃貸料	11	17
受取保険金	68	0
その他	96	101
営業外収益合計	217	239
営業外費用		
支払利息	90	78
持分法による投資損失	21	358
その他	0	21
営業外費用合計	112	459
経常利益	2,240	1,585
特別利益		
固定資産売却益	5	55
投資有価証券売却益	272	104
特別利益合計	277	159
特別損失		
固定資産除却損	16	23
その他	1	0
特別損失合計	17	24
税金等調整前四半期純利益	2,500	1,720
法人税、住民税及び事業税	632	558
法人税等調整額	220	145
法人税等合計	853	703
四半期純利益	1,646	1,016
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,646	1,017

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	1,646	1,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70	39
退職給付に係る調整額	1	2
持分法適用会社に対する持分相当額	27	△72
その他の包括利益合計	△41	△31
四半期包括利益	1,605	985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,604	986
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループは販売を主として行っており、報告セグメントごとに生産規模及び受注実績を金額あるいは数量で示すことは行っておりません。当社グループの売上高及び利益面におきましては、性質上季節的変動が著しいガス事業の占めるウェイトが高いために、下期に偏る傾向にあります。

1) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

報告セグメント別販売実績

報告セグメント	当第1四半期連結累計期間 (30.4.1~30.6.30)	前第1四半期連結累計期間 (29.4.1~29.6.30)
L Pガス事業(百万円)	16,068	15,621
都市ガス事業(百万円)	12,607	11,127
合計(百万円)	28,676	26,749

2) L Pガス事業の販売実績

区分	当第1四半期連結累計期間 (30.4.1~30.6.30)	前第1四半期連結累計期間 (29.4.1~29.6.30)
ガス(百万円)	14,106	13,725
機器、受注工事他(百万円)	1,962	1,895
合計(百万円)	16,068	15,621

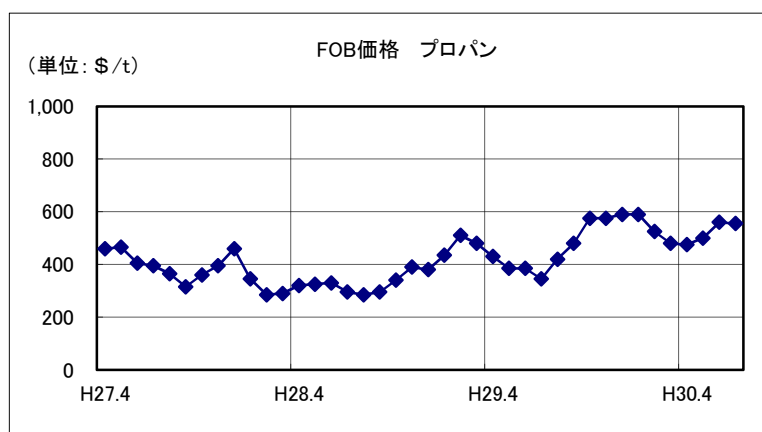
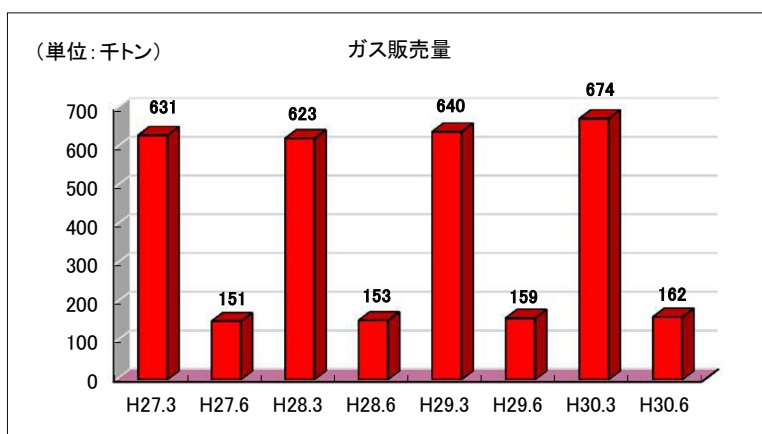
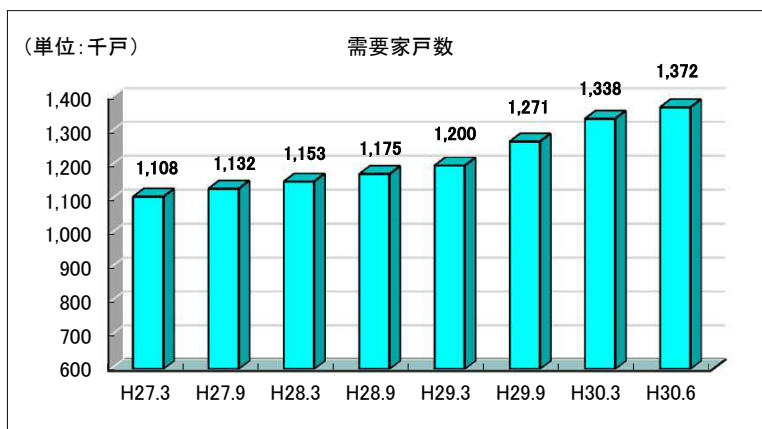
3) 都市ガス事業の販売実績

区分	当第1四半期連結累計期間 (30.4.1~30.6.30)	前第1四半期連結累計期間 (29.4.1~29.6.30)
ガス(百万円)	10,465	8,869
機器、受注工事他(百万円)	2,141	2,258
合計(百万円)	12,607	11,127

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引高は相殺消去しております。

(2) 需要家戸数等の推移



(注) ガス販売量には、都市ガス事業における都市ガス(LNG)販売量をLPG販売量(千トン)にカロリー換算して含めております。